Panasonic®

取扱説明書

保管用
保証書別添付
施工説明付き

住宅用照明器具（シーリングライト）

品番 HFA2680,HFA2680N

お客様へ　このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1〜2 ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ　この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

禁止

■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・平面部が直径1600mm未満の場所（例：下図）

・凹凸のある場所（例：下図）

・補強のない薄い場所（ベニヤ板、石こうボードなど）

・傾斜した場所

●この器具は水平天井面取り付け専用です。

必ず守る

■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの少ないもの

フル引掛ローゼット

引掛埋込ローゼット
引掛露出ローゼット

・シーリングハンガーが取り付けられたもの

・がたついたり、破損しているもの

・斜めに取り付けられたもの

・ケースウェイに取り付けられたもの

●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には資格が必要です。）

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は同梱の「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●販売店、工事店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

使用上のご注意

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞(ムービングストライエーション現象)が発生することがあります。ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ(壁スイッチがない場合はブレーカ)をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。

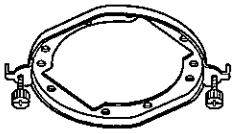
付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

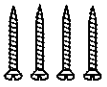
●本体取り付け用付属部品

□ 配線器具
(角型引掛シーリング(1個))

□ 取付金具(1個)
本体止めネジ(2本)



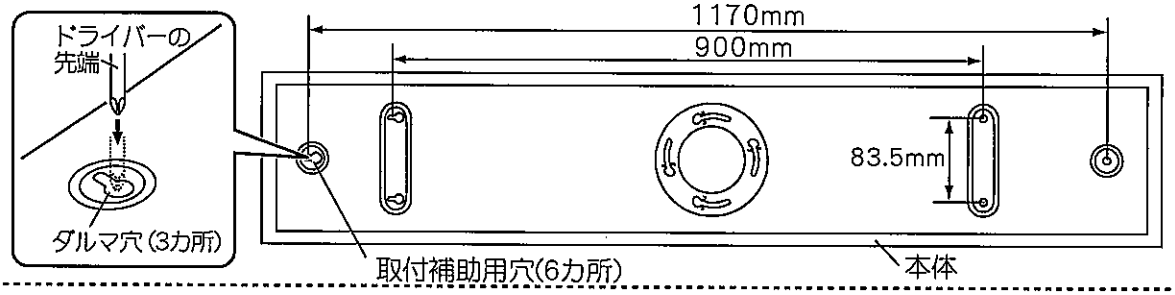
□ 木ネジ(4本)
(引掛シーリング用 2本
取付金具用 2本)



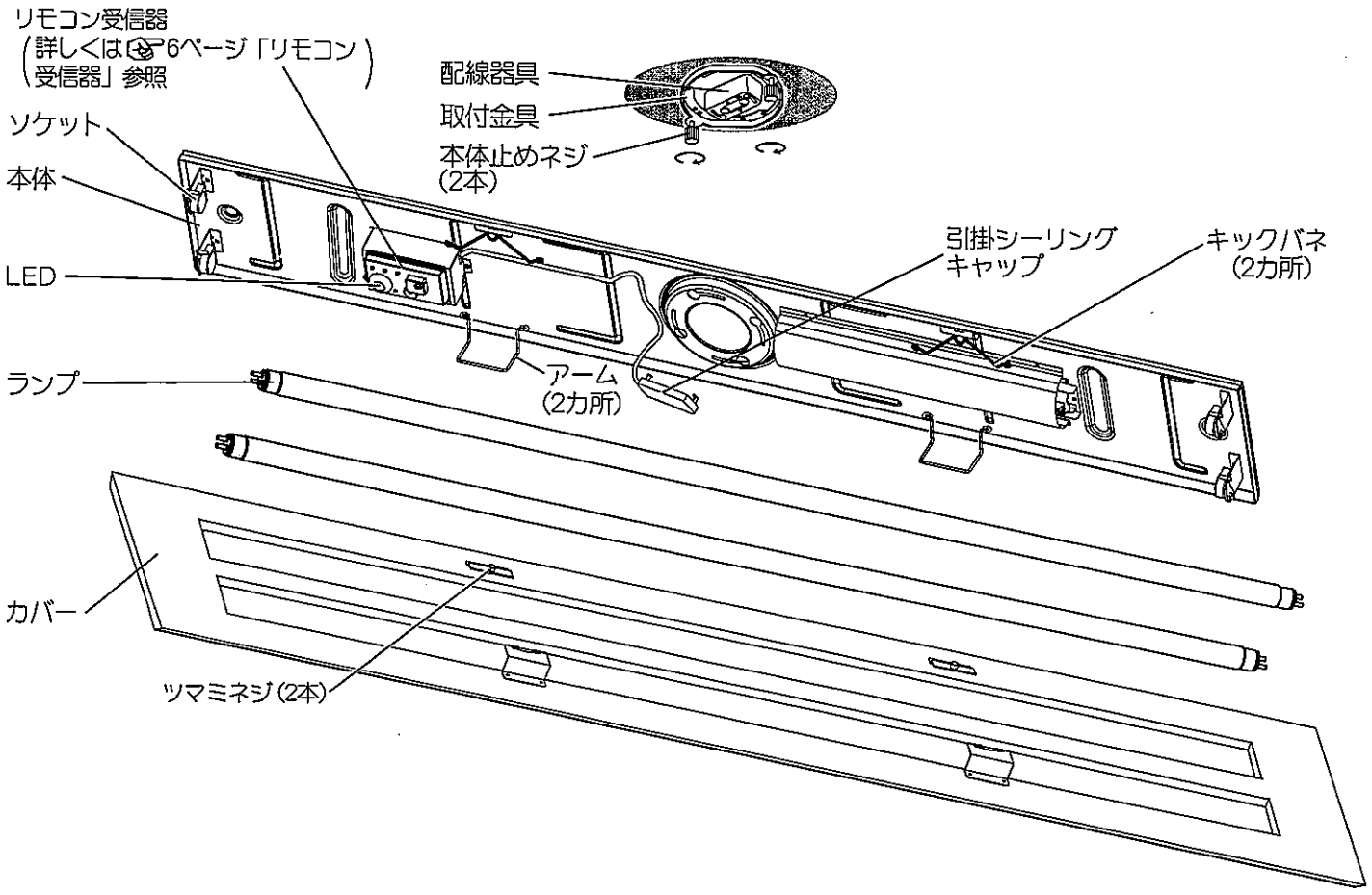
●使用しない付属部品は大切に保管してください。
引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

取付補助用穴について

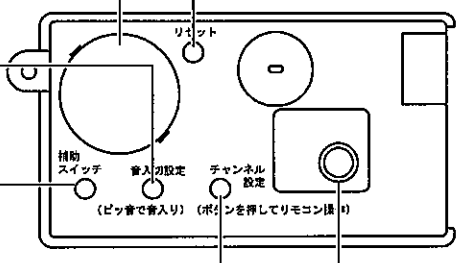
●付属の取付金具だけでは本体ががたつく場合に、ご使用ください。
●取付補助穴用取付ビスは付属していません。
●ドライバーの先端などで本体裏側よりダルマ穴をぬいてください。
取り付けピッチ:L=900mm、1170mm　W=83.5mm
推奨ビス　　:座付木ネジ 4×38mm



照明器具



リモコン受信器



LED

音入切設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を入/切します
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

補助スイッチ
押すごとに全灯/消灯します

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用します
☞7ページ「器具のチャンネルを変更する」参照

リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます
(傷つけたり、汚したりしないでください)

リセットスイッチ
動作が異常の場合に押します。(注)
☞8ページ「故障かな?と思ったら」参照
(注) 点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

(リモコンで設定する)
①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②器具に向けてリモコンのいずれかの⇨ボタンを押す
「ピピーッ」と音がして設定完了

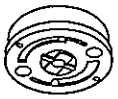
(リモコンがない場合)
補助スイッチを押す
⇨チャンネル2(又はI－2)に設定されます

照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

1 配線器具を確認する

取り付けできる配線器具

角型引掛シーリング
品番：WG1000

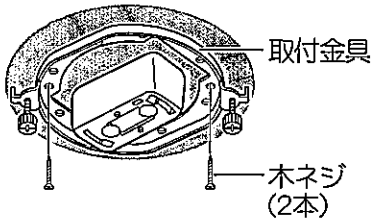


丸型フル引掛シーリング
品番：WG5005
WG5015

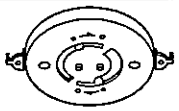
丸型引掛シーリング
品番：
WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

付属の取付金具の取り付けが必要です

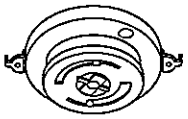
補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で
取付金具を取り付ける



⚠警告	取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する 落下によるけがのおそれがあります。



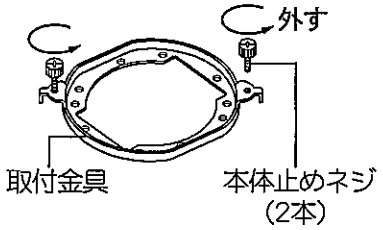
引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130



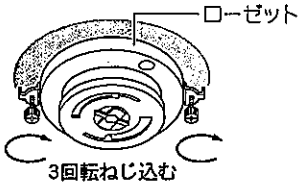
フル引掛
ローゼット
品番：WG6005

付属の本体止めネジの付け替えが必要です

1 取付金具に付いている本体止めネジを外す



2 ローゼットに本体止めネジを仮止めする

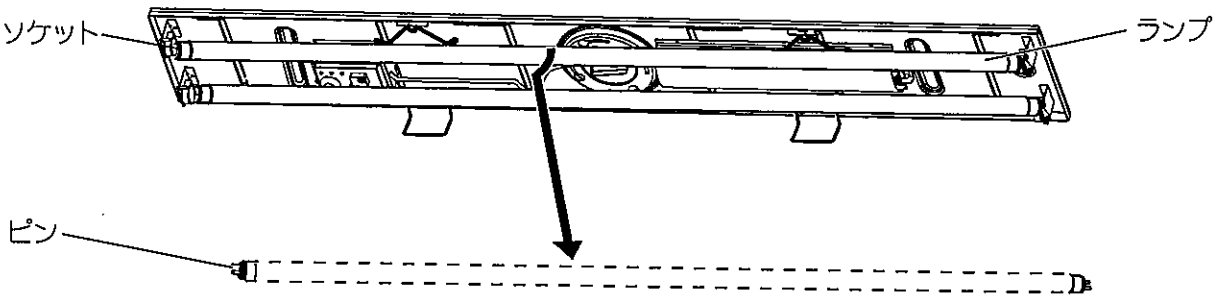


●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具（補修部品：HK956000SU）が必要です。

上記 5タイプ以外の配線器具 ➡ **同梱の配線器具に取り替える**
（販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。交換には資格が必要です。）

2 ランプ (2本) を外す

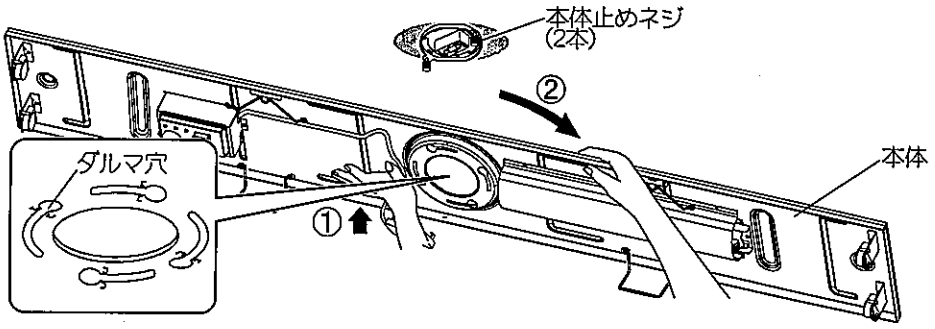
ランプを90度回して外す



照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

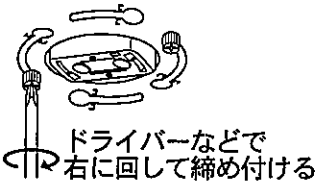
3 本体を取り付ける

①本体止めネジとダルマ穴を合わせて、押し上げる
②本体を右に回す

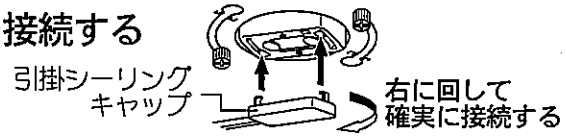


4 本体止めネジを締め付ける

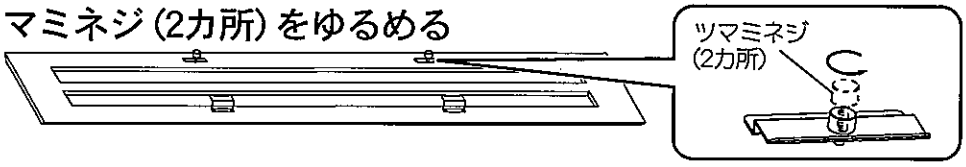
確認
●取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないことを確認する。



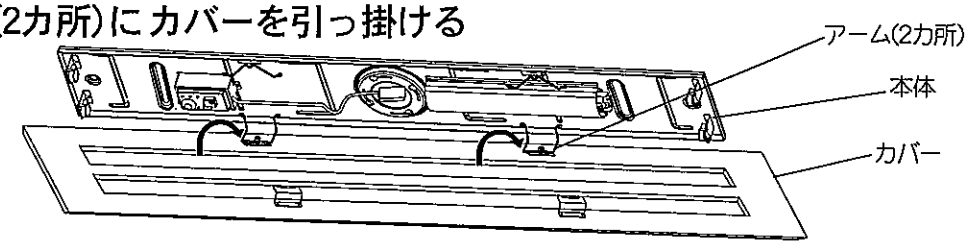
5 引掛シーリングキャップを接続する



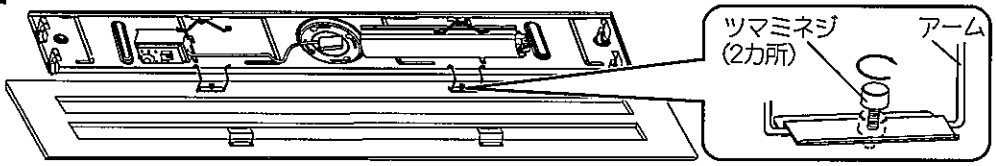
6 カバーのツマミネジ(2カ所)をゆるめる



7 本体のアーム(2カ所)にカバーを引っ掛ける



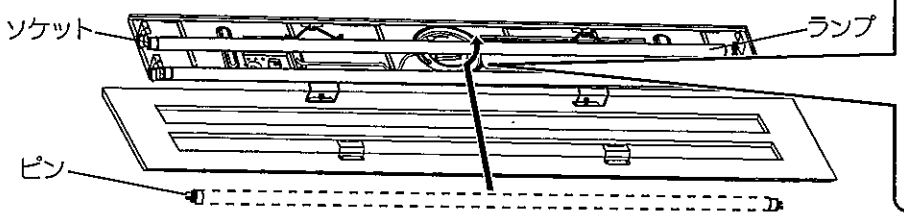
8 カバーのツマミネジ(2カ所)をしめる



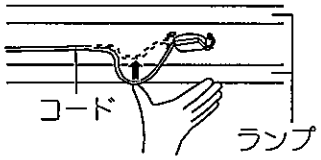
確認
●ツマミネジが最後まで締まっているか確認する。

9 ランプを取り付ける

ソケットにピンを差し込み、90度回す

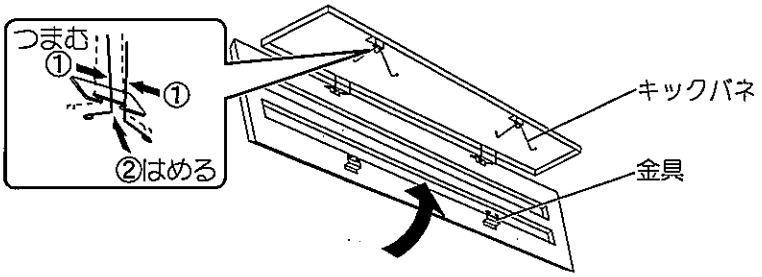


●コードがランプに接触していたり、垂れ下がっている場合は、コードを横に押し付け寝かせてください。



10 カバーを取り付ける

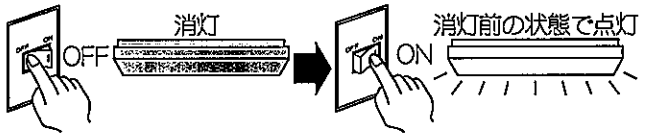
キックバネを金具に引掛け、押し上げる



壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、
「LED」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「LED」で点灯します。

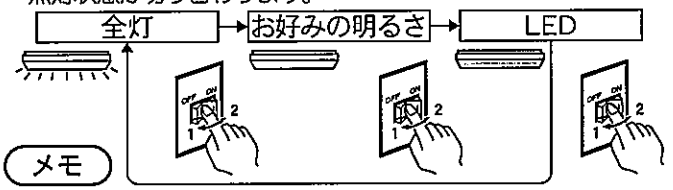


メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、 壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。



メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力（1W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

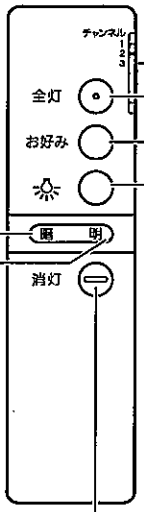
リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、器具に向けて操作してください

別売のリモコンを使うと、蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。

HK9327K	●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。
HK9392K	●タイマーの機能があります。 ●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。

リモコン各部のなまえとはたらき（HK9327Kの使用例）



暗 ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯：100～約35%の明るさ
LED：6～1段階の明るさ

明 ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯：約35～100%の明るさ
LED：1～6段階の明るさ

メモ

●「お好みボタン」・「LEDボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
（☞ 下記「お好みの明るさで点灯させる」参照）

消灯ボタン

消灯します。

チャンネルスイッチ

操作したい器具のチャンネル 1～3 に合わせて使います。
（☞ 7ページ「器具のチャンネルを変更する」参照）

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯します。(注)
(注) 押したときの明るさを変えることもできます。
（☞ 7ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照）

お好みボタン

明/暗ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
(お買い上げ時：約60%の明るさ)

LED ボタン

明/暗ボタンで変えた明るさで、LEDが点灯します。
(お買い上げ時：100%の明るさ)
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

お好みの明るさで点灯させる

蛍光灯

1 お好み ◯ を押す
2 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える

明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで お好み ◯ を押すたびに、2 で変えた明るさで点灯します。

LED

1 ☼ ◯ を押す
2 暗 明 でLEDの明るさを変える

明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで ☼ ◯ を押すたびに、2 で変えた明るさで点灯します。

メモ ●リセットスイッチを押すと、蛍光灯、LEDともお買い上げ時の明るさに戻ります。

HFA2680-T3C2

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

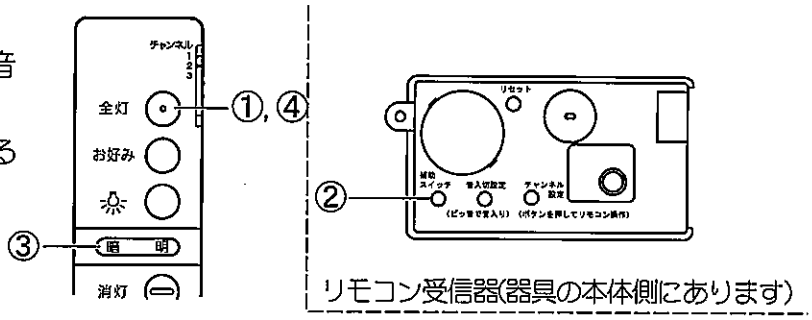
全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100％～約35％の範囲で設定することができます。

①リモコンの　全灯⊙を押す

②リモコン受信器の補助スイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける

③リモコンの 暗　明 で蛍光灯の明るさを変える

④リモコンの　全灯⊙を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了



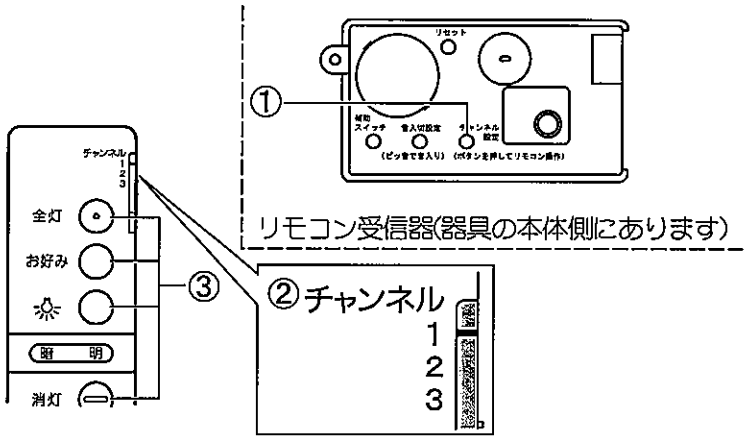
器具のチャンネルを変更する

リモコンのチャンネルを変更すると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す

②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル1）

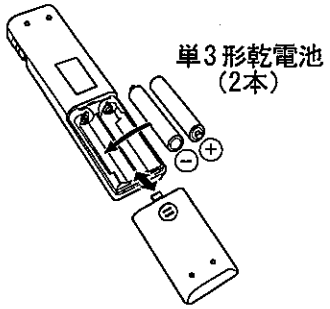
③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了



メモ

●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。
（操作できる台数はリモコンにより異なります）

電池交換について



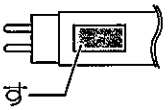
電池交換時期の目安
・乾電池は半年を目安に交換してください。

⚠注意	・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。 ・極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる。 ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

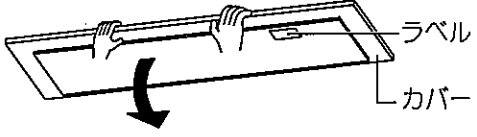
ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
パナソニック製ランプをお求めください。
●ランプが1本でも寿命になると、2本のランプは正常点灯しません。
寿命のランプを交換すると2本とも正常点灯します。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

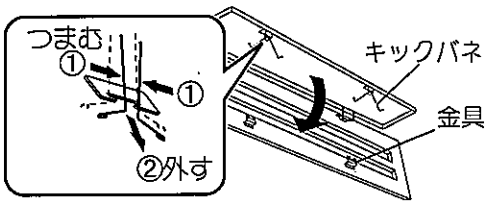


1 カバーのラベル側を引き下げる

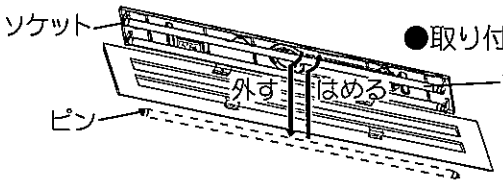


2 キックバネを取り外す

キックバネをつまみ、金具から外す



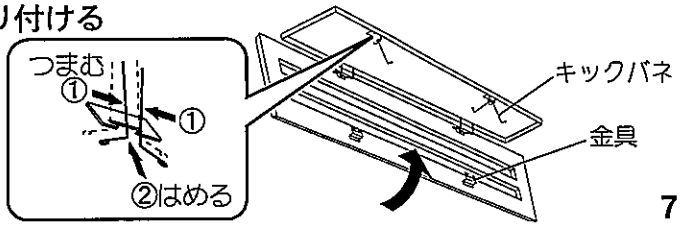
3 ランプを交換する



●取り外し・・・ランプを90度回して外す
●取り付け・・・ソケットにピンを差し込み、90度回す

4 カバーを取り付ける

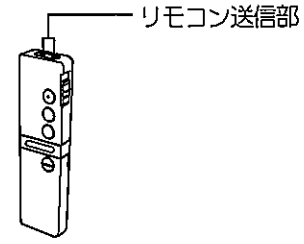
キックバネを金具に引掛け、押し上げる



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
●カバーのお手入れは、器具から吊り下げたまま行わないでください。
・カバーを外す場合は ☞7ページ「ランプを交換する」手順 1 、 2 を参照のうえ、キックバネを取り外し、5ページ「照明器具を取り付ける」の手順 6 を参照し、カバーのツマミネジ(2カ所)をゆるめてからカバーを外してください。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



リモコン

●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプのピンがソケットから外れている	ランプのピンをソケットにはめる
	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする (☞6ページ「壁スイッチで操作する」参照)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する

左記の処置を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる
② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③ 器具のチャンネルを変更する (☞3ページ「リモコン受信器」参照)

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	83W（リモコンOFF時、1W以下）	32形Hf蛍光灯 FHF32EX　2本

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げの日より1年間です。
但し安定器については3年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。
●保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
●アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くのパナソニック エコソリューションズ修理ご相談窓口（別紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012
HFA2680-T3A3
N0406-031111